

目標達成計画

作成日: 令和 2年 12月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	人員やスキルの問題もあり配食サービスを利用し三食＋おやつを提供している状態である。主食と汁物のみフロアで作成している。フロアで炊飯したご飯をプラスチックのお弁当箱に入れ、汁物はお椀に入れて提供している。お弁当箱のままの提供の為、副食が冷めた状態である。おやつに関しても届いた物をお皿に入れて提供している状態である。	①お弁当箱のまま提供するのではなく、直前に温め、食器に盛り付けて温かい状態で提供する。おやつも届いた状態で提供するのではなくフルーツソースをかける等を行う。 ②上記が出来る様になれば、生の食材から調理を行う様にする。おやつも手作りの物を提供する。 ③季節感のある食器を使用し、季節感のある食事を提供する。	①試しに昼食のみお弁当箱ではなく食器に盛り付けを行う。手順が掴めて来たら回数を増やしていく。 ②材料を業者から仕入れ、一から調理を行う。 ③フロアにある食器を選別し不足する様であれば購入する。	10ヶ月
2	13	介護経験が浅い職員が多いことで、介護保険やグループホームの仕組み・認知症についての知識が浅い状態である。また介護技術の面も正しい技術を指導された状態でない為、力任せの介護になりがちな状態である。	①職員みんなが介護保険や認知症・グループホームの仕組み等を学んだ上で日々の業務にあたる事ができる様になる。 ②正しい介護技術を習得する事で安全安楽な介護を提供する事ができる。安心安楽な介護技術を提供する事で、職員・利用者様共に負担軽減につなげる事ができる。	各職員が、どれだけの技術や知識を持っているかを確認し、フロア内の勉強会や個別指導を行っていく。 コロナ禍で難しい状況であるが、外部研修にも参加し、フロア内で伝達講習を行っていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。